

岩手県野田村の支援・交流活動報告（2015年6月20日）

—津軽の昔話、学習支援—

本日の活動は、交流茶話会（津軽の昔話を聞く会）、中学生向けの学習ボランティア、小学生向けの児童クラブ学習支援、仮設住宅の草刈り、でした。交流茶話会では、弘前から「津軽かたりべの会」の皆さんが参加。「津軽のむかしっこ（津軽弁による津軽の昔話）」を野田村の皆さんにご披露しました。

当日は6時50分に大学会館前に集合。使用する荷物の運びだしを行いました。集まったのは、事務局から本日の担当となる小林君、長尾君、柿内君の3名です。7時15分正門前を無事に出発。出発してすぐに参加者の方から「そばかりんとう」を頂きました。

7時22分に事務局の小林君から本日の活動についての説明。そして、東奥日報、陸奥新報に掲載された高橋康男さんの記事のコピーを全員で回覧しました。この記事には、高橋さんが弘前大学のボランティアセンターを通じてボランティアにかかわった経験がまとめられています。

8時05分～8時15分に花輪サービスエリアで休憩。この後、参加者の方からアイスを頂きました。8時25分から自己紹介。参加者の方の「野田村に来るたびに友達が増える」という言葉が大変ありがたかったです。8時44分から野田村の活度に関するDVDを視聴。良くできていますね。学生さんたちの頑張りを感じます。9時05分～9時25分は、道の駅おりつめで休憩。ここで恒例の集合写真を撮影し、各自、本日のお昼ご飯の調達を行いました。



恒例の記念写真

10時25分、予定通りに野田村役場前に到着。ここで残念なことが判明します。本日は予定に仮設住宅敷地内の草刈りが予定されていました。参加者の皆さんは、そのための服装、足元を準備しており、専用の道具を用意して参加してくれた方もいました。しかし、草刈りは都合により中止になってしまったのです。実際に草刈りが行われるかどうかは、事務局も当日までわからなかったのですが、参加者の皆さんには申し訳ないこととしました。

事務局は小林君・長尾君、が総合センターで小中学生の学習支援、柿内君が南浜コミュニティセンターでの交流茶話会、私が野田中学校仮設集会所での交流茶話会の担当。仮設集会所では、参加者の方が自発的動いてくれました。一応私が担当者なのですが指示など何も必要なく、かえって、私が準備の段取りを教えてもらうくらいでした。

仮設集会所には続々と野田村の方がやってきます。ありがたいことです。ここで、野田村の方と久しぶりの再会を喜ぶ参加者の方もいました。「あなたに会いたくてやってきたの」という言葉に、野田村の方も嬉しそうでした。



久しぶりの再会

野田村の方々と津軽かたりべの会の皆さんはすぐに打ち解けたようでした。一緒に体を動かし、津軽と野田村の言葉の違いを紹介しあう事で場が盛り上がります。例えば「足ながめて」というのは「足を伸ばして（崩して）」という意味だそうですね。私にとっても知らない言葉ばかりでした。「津軽ではこう言う。こちらでは何と言うの?」というやり取りがとても楽しそうで良い雰囲気でした。



語り部による津軽の昔っこ

集会所に集まってからの準備の間、実は参加者が気になっていることがありました。集会所の横の土手で草刈りをしている機械の音がするのです。参加者が出かけて行って

お話をしてみると「是非、手伝ってほしい」というお返事。草刈りのために完全装備の参加者は早速草刈りに参加。集会所横の土手にはかなりの量の雑草があり、ここからは集会所内で昔話を聞きながら交流するグループと外で草刈りをするグループの二つに別れました。



草刈りの様子

途中、にわか雨が降ってきて、皆さんが慌てて洗濯物を取り込みに行ったりすることもありましたが、津軽の昔話は大変好評でした。

午前中の交流会が終わり、お昼ご飯の時間です。私も調達したお昼ご飯を食べようとしたのですが、ここでも驚きの展開。参加者の方々がお昼ご飯を用意してくれていたのです。たくさんのおいしいおかずがテーブルいっぱいに広がります。参加者の皆さんととても楽しい昼食のひと時となりました。

13時になったところで、お迎えが到着し、語り部の皆さんは南浜コミュニティセンターへ移動します。語り部の皆さんには午前午後と場所を変えて大活躍をしていただきました。午後の集会所には子供たちがやってきて、備え付けのおもちゃで楽しく遊んでいました。



象の絵が上手！

15 時過ぎに全ての予定を終えて野田村発をバスで出発。3 か所の活動場所を経由して 15 時 20 分ごろにばあふるへ。ここで、野田村社協の方と待ち合わせ。実は、社協とボランティアセンターのポットを取り違えて持ってきてしまったのでした。メーカーも色も一緒に良く見なければ違いが分からないポットでした。弘前についてしまう前に気が付いて良かったです。

パアプルは 15 時 40 分過ぎに出発。16 時 20 分～30 分に道の駅おおので休憩。その後の花輪 SA では休憩とアンケートの記入をお願いしました。帰り道の感想ですが、「語り部が素晴らしかった」との感想をいただきました。南浜コミュニティセンターの茶話会も 15、6 人の参加者があり、楽しいひと時が過ごせたようです。「草刈りに汗をかいた」との感想にはホッとしました。参加者の方の積極的な行動の賜物ではありますが、ご用意いただいた道具を活用頂けて良かったです。「おいしいお昼ご飯を用意してもらえた」との感想は私も同感です。本当においしかったです。

また、私は集会所の担当でしたので、学習支援の方は見ていないのですが、こちらでは凧を制作し、子供たちに大変好評だったようです。「子供たちがとても上手に作っていた」「『今度はいつ来るの?』と聞かれてうれしかった」「凧の作り方を知った。楽しかった」感想を頂きました。

さらに「50 年前の教え子に会えました」「先生に再会できた」という感想がありました。今回お越しいただいた語り部の方は保育士でいらしたそうで、今回の参加者に教え子の方がいたのです。50 年経ってもわかるものなのですね。感動的な再会でした。

今回の活動は事務局の指示が必要ないくらい参加者の方が手馴れていて、感心しました。昔話は好評で大成功だったと言って良いでしょう。総合センターでの子供たちとの触れ合いも、楽しい時間が過ごせたようです。子供たちはいつものように元気に事務局の長尾君をいじめていました（悪い意味ではありません）。飛びついたり、抱きついたり、彼は本当に子供に大人気です。

反省点としては、語り部による交流会と茶話会の両方を午前午後で行うのは少し長いかなと感じました。午前、午後の半分だけでも良かったかもしれません。草刈りに関する手違いも申し訳なかったです。準備の手間もありますので参加者の方への連絡には細心の注意が必要であると再認識致しました。

いずれにせよ、参加者の皆さんの積極的な活動により野田村の皆さんと楽しいひと時が過ごせた一日でした。今回も、ありがとうございました。

(文責 小谷田)